

1 【さあ主にささげよう】

1.
さあ主に捧げよう 感謝の 歌を
さあ主に捧げよう 感謝の 歌を
ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
ハレルヤ ハレルヤ 主にささげよう

2.
さあ主の御前で 喜び踊ろう
さあ主の御前で 喜び 踊ろう
ハレルヤ ハレルヤ 力の限り
ハレルヤ ハレルヤ 喜び踊ろう

【Welcome あなたを】

天と地は栄光を 大空はみ業を示す
それでも あなたは私たちの賛美を
住まいとして選ばれる

WELCOME あなたを
WELCOME 今むかえます
賛美の中にあなたはおられるから
さあ手をあげ 声をあげて
今あなたをたたえます

【土の器】

土の器 欠けだらけの私
その欠けからあなたの 光がこぼれ輝く
土の器 ヒビだらけの私
そのヒビからあなたの 愛が溢れ流れる

こんな私でさえも
主はそのままで愛してくださる

だから今 主の愛に 応えたい 私の全てで
用いてください主よ 私にしか
できないことが 必ずあるから

【あなたの御顔を】

あなたの 御顔を 慕い求めます
心を尽くして あなたを愛します

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリピ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
③クリスチヤンが成長し、整えられ、用いられますように
＝教員が恵まれて、礼拝・祈祷会・奉仕・献金・伝道ができますように
④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
⑤教会近隣の方が集われますように
⑥若い献身者が与えられますように
⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
⑧高齢の方々のフォローが十分になされますように
⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
＝ウクレレ教室・音楽ミサなど
⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

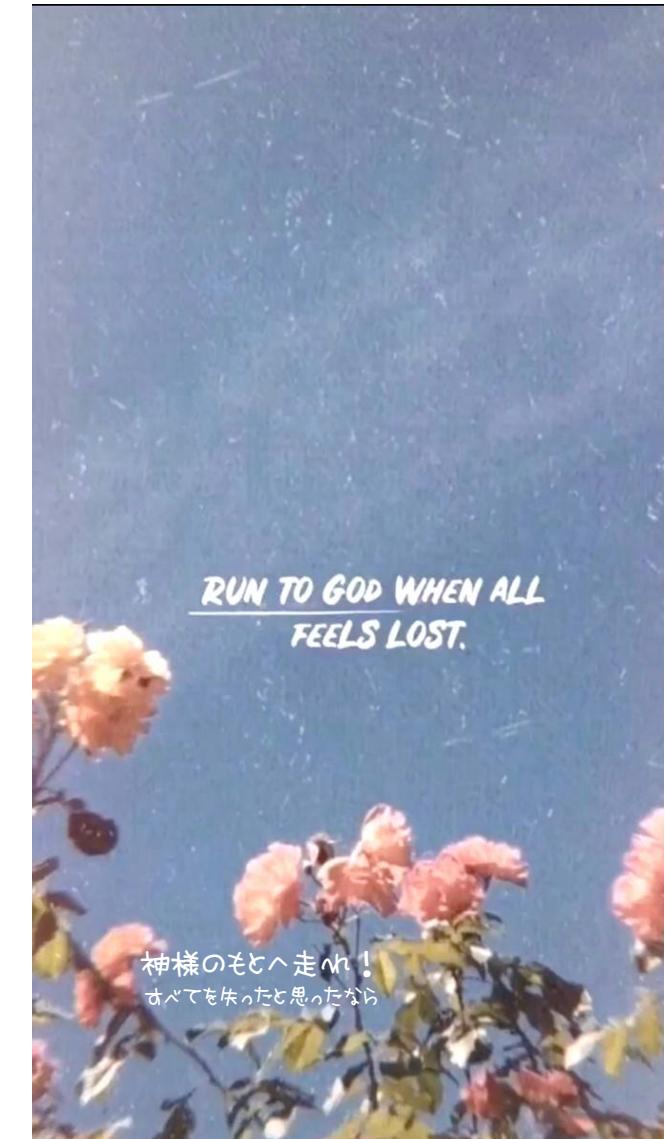
5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って…

- ウクライナとロシア/イスラエルとパレスチナのため。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。
- 能登半島地震の被災地のため/南海トラフのため

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」
「日本にはリバイバルが始まっています」
「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」
「することなすこと、みな成功します」
「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」
「イエス様がご一緒ですから」
「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio
489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:206 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば ゆっくり読んで黙想しましょう。

ローマ人への手紙8章18～25節（リビングバイブル）

18けれども、私たちがいま味わっている苦しみは、後に私たちが受ける栄光に比べたら、取るに足りないものです。

19そして、神がお造りになったすべてのものが、神の子どもたちの復活を忍耐と希望をもって待ち望んでいます。20-21その日には、罪、死、腐敗など〔この世界は今、神の命令により、不本意ながらこれらのものに支配されていますが〕は跡形もなく消え去り、この世界は、神の子どもたちが喜びをもつて味わうことができる、罪からの輝かしい解放にあずかるからです。22私たちは、自然界もこのすばらしい日を待ち望みながら、苦しみうめいでいることを知っています。

23そればかりか、私たちクリスチャンでさえ、御靈を自分のうちにいただいて、将来の栄光を先取りしているにもかかわらず、罪からの完全な解放を待ち望んでうめいでいます。その日には、神が約束してくださった新しい体、すなわち、もはや苦しみも死もない体をいただくのです。

24私たちは、このように信じて待ち望むことで救われています。信じて待ち望むとは、今は持っていないでも、やがて与えられると確信して待つことです。すでに持っていると思う人は、神が与えてくださると期待したり、信じて待ち望んだりはしません。25しかし、まだ起こっていないことを待たなければならぬのなら、忍耐をもって、確信して待ち望むのです。

3

默想(Life Art Meditation)の時間 (感じたこと・恵まれたことをノートします)

ローマ人への手紙8章18～25節（口語訳聖書）

18わたしは思う。今のこの時の苦しみは、やがてわたしたちに現されようとする栄光に比べると、言うに足りない。19被造物は、実に、切なる思いで神の子たちの出現を待ち望んでいる。20なぜなら、被造物が虚無に服したのは、自分の意志によるのではなく、服従させたかたによるのであり、21かつ、被造物自身にも、滅びのなわめから解放されて、神の子たちの栄光の自由に入る望みが残されているからである。22実に、被造物全体が、今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けていることを、わたしたちは知っている。23それだけではなく、御靈の最初の実を持っているわたしたち自身も、心の内でうめきながら、子たる身分を授けられること、すなわち、からだのあがなわれることを待ち望んでいる。24わたしたちは、この望みによって救われているのである。しかし、目に見える望みは望みではない。なぜなら、現に見ている事を、どうして、なお望む人があろうか。25もし、わたしたちが見ないことを望むなら、わたしたちは忍耐して、それを待ち望むのである。

4

倉知牧師のみことばの解説（コラム）

「主よ、ヨハネがその弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈ることを教えてください」ルカ11の1

4/28(日)の礼拝ではロ一書8章12～17節を通して、●私たちは「アバ父よ」と呼ぶことのできる「子たる身分を授ける聖霊」をいただいたこと。すなわち●全く信頼できる真のお父様が私たちの味方であること、●ひとり子さえ惜しまずにお与えてくださるほどに私たちは愛されている子どもであること、そして●子であるならば相続人であり、キリストと共同の相続人である！ことを学びました。

↓

私たちは、アバ父なる神様に愛されている子である安心感をもって生きることと、イエス様の御名で祈るなら「父が何でもかなえてくださる」相続人の特権を行使して(EX:放蕩息子のように)、祈りたいと思います。

しかし、私たちはすでに「神の子ども」とされました
が、まだ完全なからだを持っているわけではありません。
肉(自我・自己中心)があり、罪との戦いがあり、からだの衰え、病気や傷とも向き合っています。なぜなら救いは成就(finished)しましたが、永遠の天国に入った時に、救いは完成(completed)するからです。その日、苦しみも死もない体をいただければ約束されています(23節・LB)。贖われ、復活した「栄光のからだ」をいただくのです。ハレルヤ！

その日を待ち望む私たちは被造物と同じように「うめ
いている」と使徒パウロは語ります。私たちは「完全な姿
に向かって成長し、造り変えられている」のです。死に
に向かっているのではなく、栄光と復活に向かっていま
す。その途上にあって、私たちと共に「うめいてくださる」
聖霊様が、私たちの祈りを助けてくださいます。聖霊
様、どうぞ今日も私と共に、私をおして祈ってくださ
い！Amen